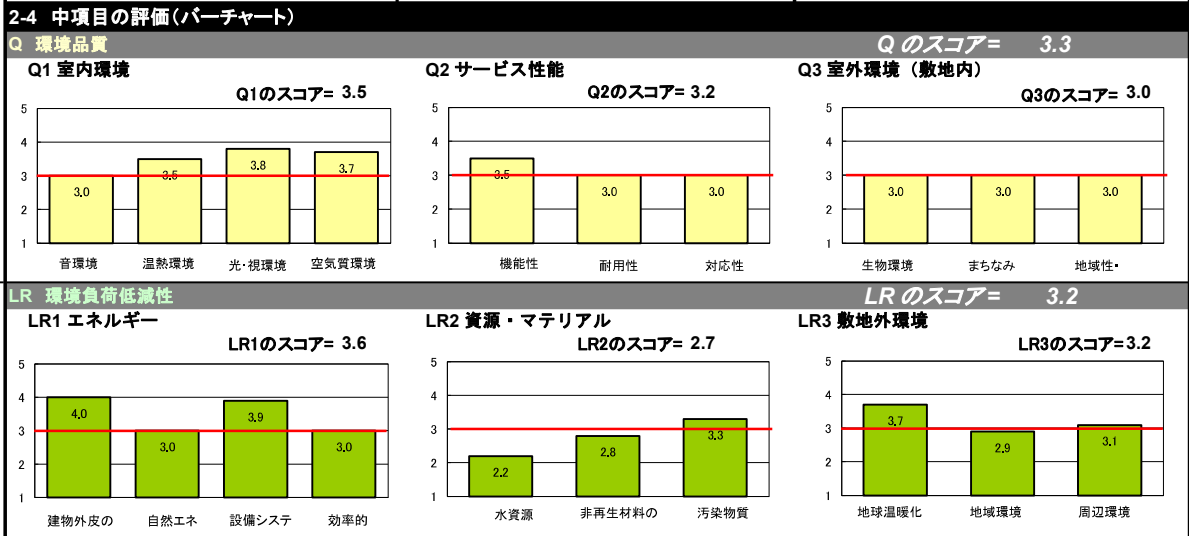
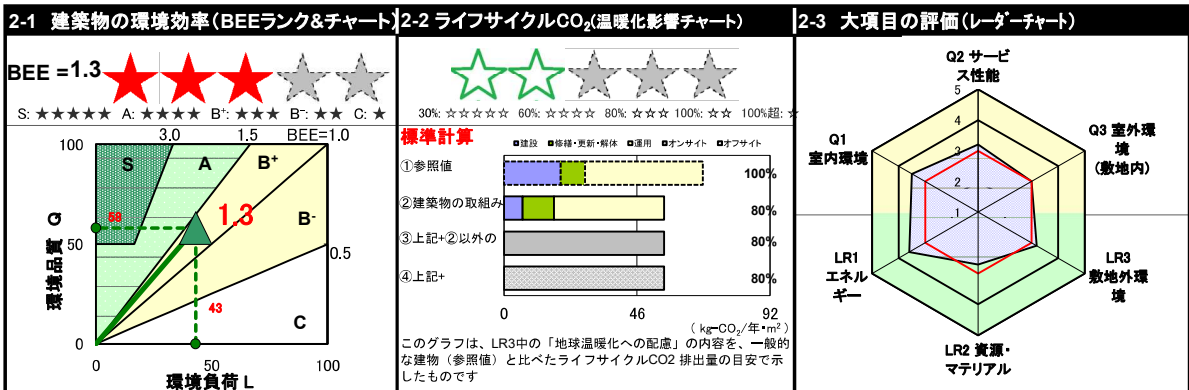


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)千葉みなと計画	階数	地上12F、地下0F
建設地	千葉県千葉市中央区問屋町111番1	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	209 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年7月26日
敷地面積	916 m ²	作成者	株式会社プラスデコ
建築面積	496 m ²	確認日	2023年7月26日
延床面積	4,517 m ²	確認者	株式会社プラスデコ

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		その他
総合 本建物は、千葉市の商業地域に計画された集合住宅である。敷地内には緑地を設けて、自然環境の保全や創出に配慮した計画としている。		0
Q1 室内環境 ・遮音性能の高いサッシを採用し、建物内の音環境に配慮する。 ・建築材料は、規制対象外建材F☆☆☆☆を全面的に採用し、室内空気質の健全化に配慮する。	Q2 サービス性能 ・劣化等級3を満足し、躯体の長寿命化に配慮する。 ・耐用年数の長い配管材料を採用し、耐用性に配慮する。	Q3 室外環境 (敷地内) ・敷地内に中、高木をバランス良く植栽し、生物環境の保全と創出に配慮する。
LR1 エネルギー ・LED照明や潜熱回収型給湯器を採用し、省エネルギーへ配慮する。	LR2 資源・マテリアル ・躯体と仕上げ材の分別が比較的容易な計画とし、部材の再利用可能性向上へ配慮する。	LR3 敷地外環境 ・広告物照明の設置はせず、光害の抑制に配慮する。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される